

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人恵育会
施設名	新金岡さくらこども園
報告者（役職）	藤田 昭子（園長）
住所・連絡先	堺市北区新金岡町 2-2-1
	☎ 072-260-9987
	E-mail shinkanaokasakura@sanae.ed.jp

○タイトル（保育計画）

みんなで一緒に遊ぼう～インクルーシブ保育をめざして～

○主な助成備品

OTOMORI ハイハイの丘 ミラーマット

1. 保育計画策定の目的

本園は 2024 年 4 月に開園した認定こども園です。子どもたちが、「新しいことにどんどん挑戦する」という保育を行っています。園庭には幼児向きの遊具や運動器具を設置しています。幼児はそこで存分に自ら体を使い活動できるようにしています。乳幼児には屋内で安全安心に十分に体を動かし活動できる保育環境を提供したいと考え、この事業を活用した保育計画を策定しました。

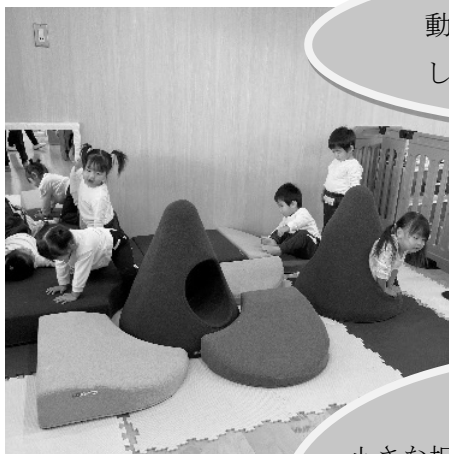
2. 具体的な実施内容

1 歳児クラス

動きたい欲求を満たすため、ハイハイの丘とミラーマットを活用し、部屋の一角に体を動かせるコーナーを作りました。歩行が安定していない子もいたため、少しの段差や坂がよい運動になり歩行の意欲へとつながりました。また、壁側に設置したことで支えができバランスも取りやすく遊びやすくなりました。トンネルも全身を使ってくぐったり、穴にお尻をはめ込んで座り、落ち着いている姿もありました。OTOMORI では回し方によって音が変わることに気づき、まわし方の工夫をして楽しんでいました。

春から秋にかけては 1 歳児保育室に常備し、0 歳児が歩くようになり探索活動が活発になった秋からは 0 歳児保育室に常備をしています。

<写真1> 1歳児



動きたい時はぐるぐる歩いて楽しんでいます。



小さな坂は滑ったり、しゃがんで降りてみたり、トンネルは腹筋や背筋を使い、体の使い方を工夫して楽しんでいます。



体を小さくしながら、腕とお腹の力を使って通っています。



音をかめながら、たたいたり、回したりを繰り返して楽しんでいます。



0歳児クラス

歩けるようになり探索活動が活発になってきた頃から0歳児クラスにハイハイの丘とミラーマットを移動させました。0歳児クラスではハイハイで丘を登ったり降りたりすることや、トンネルでは「いないいないばあ」を楽しんでいます。

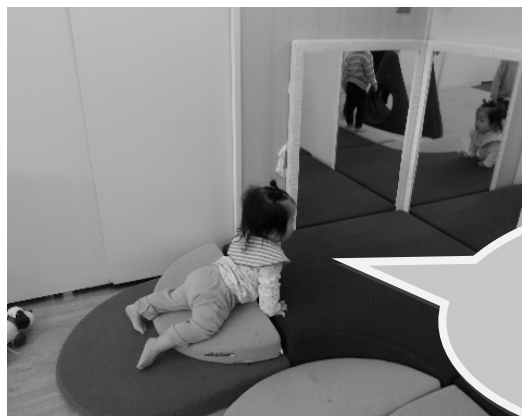
また、ミラーでは、笑いかけたりと好奇心をくすぐる遊びがたくさんあるので様々な遊びを楽しんでいます。OTOMORIでは軽い力で簡単に音が出るので興味を持って繰り返したいたり、歌に合わせてたたいたり、身近に音を楽しんでいます。

また、つかまり立ちをしやすい高さなので、立つ、しゃがむなど全身運動にも繋がっています。

<写真2> 0歳児



トンネルはくぐる、つかまる、座るなど、様々な使い方で楽しんでいます。



ひとつずつ音が違うので興味も広がります。



自分の姿をじっと見つめハイハイで丘の上まで移動しています。

中で回っている玉に興味津々です。



3. 成果と評価

いつでも動ける環境を作ることによって静と動の遊びのバランスが取れ、それぞれが好きな遊びを見つけ遊び込める環境になりました。特に、支援の必要な子どもにとっては「動きたい」欲求が大きいので、部屋の中でも制止することなく欲求を満たせる空間にすることで落ち着ける時間が増えました。

また部屋の広さは限られていますが、ハイハイの丘やOTOMORIを置くことで部屋の中での活動量が増え、十分な探索活動や全身運動を行うことができました。

また、1歳児は合同保育の部屋にもなっていたため、他学年も使用することができ、楽しむことができました。

4. 今後の課題と展望

今回は0,1歳児の活動として主に使用しましたが、上記に記載していますように、合同保育などの時に、日常触れることの少ない幼児が遊び方を工夫し使用することで、乳幼児も真似をします。真似ることで遊びがさらに広がり「新しいことにチャレンジする」目的につながります。

また、年齢を問わず幼児でも配慮が必要な子どもたちには、特定の刺激により心を落ち着かせたり、脳や体がリラックスできる時間を持つことができていると考えています。

今後もインクルーシブ保育を目指して、活用させていただきます。

以上